主催：日本ソルフェージュ研究協議会

第 17 回 研究発表会

日 時：2025 年 11 月 9 日（日）14：00 開演（13：30 開場）
会 場：東京藝術大学音楽学部　5-109 大講義室
対 象：①対面
②オンライン（アーカイブ）…会員限定
Web配信期間 2025年12月21日（日）20：00～2026 年 1月19日（月）10：00

大橋 大河 OHASHI Taiga

1987 年生まれ、横浜市出身。東京学芸大学 G 類音楽専攻卒業、同大学院修士課程修了。ピアノを久保田明美、中野孝紀の各氏に師事。第 13 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA 一般部門、第 27 回日本クラシック音楽コンクールにて最高位受賞。2008 年～ 2012 年ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭 エリアコンサートに出演。2018 年、2021 年にピアノソロリサイタルを開催。大学在学時より個人ピアノ教室にてソルフェージュ指導を担当。現在、島村楽器音楽教室ピアノ講師、東京音楽大学付属音楽教室（ソルフェージュ）非常勤講師。

◆実作品を用いたリズム学習
―初級者を対象としたフォルマシオン・ミュジカルの活用―

リズム学習というと、リズム譜によるリズム打ちが一般的な方法だが、取り組みやすい反面、機械的な練習になりやすい。そこで本発表では、実作品を用いたリズム学習を提案する。まず、一つの楽曲においてそのリズムが用いられている部分の表現を学び、その上で、同一リズムでも楽曲によって異なる表現が生まれる点に着目し、より深い理解を目指す。学習方法を検討するに当たり、現在出版されているフォルマシオン教材から、リズム学習に特化した数種類の教材を比較考察する。そして、初級者を対象とした授業での実践例を紹介し、授業で得られた結果を基にリズム学習におけるフォルマシオン・ミュジカルの活用法を探る。

田中 翔一朗 TANAKA Shoichiro

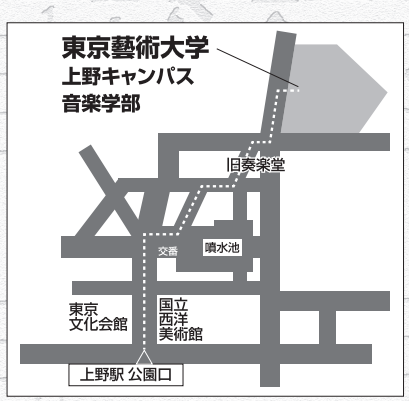
ピアニスト、作・編曲家、音楽学者、プロデューサー、教育者。90 年生。茨城県牛久市出身。ソルフェージュは中 2 から始める。東京藝大附属音楽高等学校を経て、同大器楽科ピアノ専攻、同大作曲科を共に卒業、同大大学院修士課程を修了。都立総合芸術高校、東京音大、ヤマハ・マスタークラス講師等を経て現在東京藝大ソルフェージュ科、作曲科、及び同大附属高校講師。現代音楽アンサンブル・プラットフォーム代表、セイワ楽器株式会社顧問。日本ソルフェージュ研究協議会会員。

◆現代音楽におけるソルフェージュ教育を再考する

少なくとも我が国におけるソルフェージュ教育において、「現代音楽」演奏に対する教育はクラシック音楽に対するそれよりもしばしば手薄であるといえ、それゆえにそこへ注力することで現場での演奏や批評の質が向上するように思われる。本発表においては発表者が実際に東京藝術大学ソルフェージュ科の授業で各期に一度は行っているやや特殊な授業を通して、どのように現代音楽に対するソルフェージュ教育が行われうるか、実作品、思考実験的ワーク、ソルフェージュ教材、さらに美術史への参照を通して一つのモデルを示すことを試みたいと思う。

入場料：無料
（会員以外の方は、当日以下の諸経費負担をお願いいたします）
一般 1,000 円、学生 500 円、賛助会委員（個人）500 円

問合せ先：日本ソルフェージュ研究協議会事務局
Tel. 090-5566-8567（留守番電話）
E-mail : ni.sol.ken@gmail.com
http://www.ni-sol-ken.com/index.html

会員ログイン用 QR コード
オンライン視聴は以下の会員ログインの URL もしくは左の QR コードからお入りください。
http://www.ni-sol-ken.com/member/auth.php

Homepage
Facebook